

2026年9月24日

各位

会 社 名 シンバイオ製薬株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長兼 CEO 吉田 文紀  
(コード番号: 4582)  
問 合 せ 先 IR 室 (TEL.03-5472-1125)

**多発性硬化症の独占的グローバルライセンスを取得  
-米国保健福祉省との間で、BCVに関する開発のライセンス契約締結-**

シンバイオ製薬株式会社（以下、シンバイオ製薬）は、米国保健福祉省（米国国立衛生研究所（NIH）傘下 の米国国立神経疾患・脳卒中研究所（NINDS）を通じて締結）との間で多発性硬化症（MS）の治療薬および予防薬として、布林シドホビル（BCV）を開発するための技術に関する独占的グローバルライセンス契約を締結したことをお知らせします。

2023年3月に米国国立衛生研究所（NIH）傘下 の米国国立神経疾患・脳卒中研究所（NINDS）との間で共同研究開発契約（CRADA）を締結し、MSを対象とした新たな治療法の開発に取り組んできました。その研究成果は、Journal of Clinical Investigation（2026;136(2):e19576）にて公表しております。本研究によってBCVは低濃度においてもEBウイルス陽性細胞のみを選択的に阻害することを確認しました。今後、BCVがもつ高い抗ウイルス活性を活かして、新規メカニズムによるMSの治療法の開発を進めてまいります。

吉田文紀社長兼CEOのコメントです。「EBウイルスの再活性化が多発性硬化症の主要なリスク要因であることから、EBウイルスに対して高い抗ウイルス活性をもつBCVによりEBウイルスを直接標的とする新たな治療方法の開発を進めてまいります。」

本件による2026年12月期の連結業績見通しへの影響はありません。

以 上

## 注記

### 1) MS とその治療

MS は中枢神経系(大脳、視神経、小脳、脊髄など)の髄鞘(神経の鞘)を自己免疫的機序で破壊する神経変性疾患です。MS の患者は全世界に約 300 万人いると推定されています。

現在、MS の治療には、抗 CD20 抗体療法、ステロイド・パルス療法を始めとしてインターフェロン $\beta$ 、免疫抑制剤等が使われています。抗 CD20 抗体療法は EB ウイルスが B 細胞に潜伏するため、全ての B 細胞を取り除くことで再発頻度を低下させたり、進行を遅らせたりする治療効果があります。

シンバイオ製薬が目指す BCV を用いた治療法の開発は、MS の主たるリスク要因である EB ウイルスに感染した B 細胞のみを選択的に標的にし、EB ウイルス陰性の B 細胞は残すことにより治療する従来にない新たな治療方法の開発を目指しています。

### 2) EB ウイルスと MS の関係および当社の取り組み

2022 年 1 月、米国の有力な科学誌「Science」に、ハーバード大学研究チームから EB ウイルス感染が MS の発症リスクを高めるという発見に関して、長期に遡る疫学調査の結果が発表されました<sup>※1</sup>。さらに同月、スタンフォード大学からは、欧州の有力な科学誌「Nature」に、EB ウイルスの一部が神経系の構造と似た部分を持っているため、免疫系が誤って自分自身の神経細胞を攻撃し、さまざまな症状を引き起こすという発症メカズムが報告されました<sup>※2</sup>。

これらの発見を基にシンバイオ製薬は、NINDS と 2023 年 3 月に共同研究開発契約(CRADA)を締結し、EB ウイルスを標的とした新規治療法の開発に向けた共同研究を行ってまいりました。本共同研究では、BCV は再活性化した EB ウイルスの活性を強く抑制することが確認され、2026 年 1 月に論文として公表しております<sup>※3</sup>。BCV が EB ウイルスを直接標的にすることにより MS の治療に使える可能性を強く示唆しています。現在、サルを用いた動物実験を進めており、臨床試験に向けて 2026 年 3 月に CRADA を 3 年間延長しました。

<sup>※1</sup> Science. 2022; 375: 296-301

<sup>※2</sup> Nature. 2022; 603: 321-327

<sup>※3</sup> J Clin Invest. 2026;136(2):e19576

### 関連プレスリリース

- ・ 多発性硬化症を対象として NIH/NINDS との BCV 共同研究開発契約 (CRADA) を 3 年間延長 — 進行性多巣性白質脳症に続き、脳神経変性疾患領域での開発を推進 —  
(2026 年 3 月 30 日)
- ・ 多発性硬化症治療の IV BCV による新たなアプローチ 米国 NIH との共同研究成果 *Journal of Clinical Investigation* 誌に発表 (2026 年 1 月 29 日)
- ・ ブリンシドフォビルの多発性硬化症に向けた開発 米国国立神経疾患・脳卒中研究所と共同研究開発契約(CRADA)を締結 (2023 年 3 月 22 日)

### 3) CRADA について

米国政府の研究機関が保有する施設、特許、専門性を活用し、科学的・技術的知識を人類にとって有用な商業製品に転換することを目的としています。そのため、CRADA 契約の対象となる研究は、その社会的意義・重要性が評価されます。

### 4) 米国保健福祉省 (HHS) について :

HHS 傘下に所属する NIH の NINDS によって共同研究開発は実施されておりますが、特許ライセンス契約上の当事者は HHS となります。